

5月度		個人		山行報告書		報告者	青山	参加	CL 塚本(英)
配布先		山城 室生、赤目国定公園		山行日		報告日	5月18日	メンバー	青山
総会参加数		山名		大洞山、尼ガ岳		5/13(日)			
山行:1		山行目的		ふるさと富士登山		コースタイム(天候:)			
リーダー	ルート図(地図を見て正確に)		刈谷	4:50	大洞山頂上(雌岳)	9:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     上野東IC から帰路 は往路を  塚本宅 18:45                 </div>		
原紙:			豊明IC	5:00	雄岳	9:35			
会事務局			三重川越ic	5:35	四ノ峰	9:55			
			亀山IC	5:50	倉骨峠	10:10			
			上野ic	6:05	ミツバツツジの峰	10:30			
			名張市	6:10	尼ガ岳頂上	11:05			
			上太郎生	6:30	倉骨峠	12:30			
				6:35	東海自然歩道	12:50			
				6:50	桔梗平(石畳)	13:15			
				7:05	三多気キャンプ場	13:25			
				7:30	三多気のさくら(駐)	14:15			
		7:45	上太郎生	14:40					
		7:55	丸亀うどん(名張)	14:52					
		8:25	伊賀の湯(上野東)	16:10					
<p>&lt;山行報告&gt;</p> <p>前回(5/4)鎧岳～兜岳は日帰り山行のため同時に計画した大洞山、尼ガ岳が登山出来なかったため今回(5/13)も日帰りのため刈谷(塚本宅)を5時に出発した、今日の天気は快晴に恵まれて前回の兜岳～鎧岳と同じ経路で順調に桔梗が丘～比奈知ダム(6:35)へ進み長瀬～上太郎生に6:50に着いた。御杖道の駅から左に曲がり三多気のさくらの駐車場に車を駐車した(7:07)。ここから真福院まで続くさくら並木と民家のなかから登山開始をした(7:30)。桜並木と民家の間を15分進むと真福寺の門前を出た、石段を登り巨杉の間を通過して赤い門を潜ると真福院の境内に入参道にもどり少し坂道を上がり、三多気キャンプ場のバンガローを左に見ながら東海自然歩道を通り林道にてた処が大洞山登山口である(8:15)。ここから植林帯に入るが上りが急になるが階段がつけられ良く整備された登山道である。植林帯の中で山頂0.3kmの道標に従い一気に標高差300mを登ると展望のよい大洞山(雌岳)山頂に到着した。頂上到着は9:00で山頂は天気に恵まれ倶留尊山が近くにその向こうに先日登った鎧岳～兜岳が望められ、北東の稜線の延長線上に次に目指す尼ガ岳(伊賀富士)の端正な姿を展望できた。頂上の日本たんぽぽを写真に撮り9:35北に見える雄岳へ鞍部を下り少し登り返し歩いて15分程で雄岳に着き室生の山々が一望できる眺めを堪能した。稜線さらに北に向かい雑木林の中をいき高度を下げ四ノ峰、三ノ峰を通過すると東海自然歩道と合流する立派な道標の分岐点にでる、倉骨峠はもう少し先にある。もう少し急な稜線を下り倉骨峠に出る、ここからさらに北へ稜線を進むと目前に尼ガ岳が現れる、滑りやすい急斜面を直登するとこのルートは尼ガ岳保護のため登らないよう地元山岳会の注意書があったがルートの半分以上登ったためそのまま頂上をめざして尼ガ岳(957.7m)頂上に11:00到達した。下山は倉骨峠へ下り東海自然歩道を利用して真福院～三多気のさくらへ戻る。ここの東海自然歩道は大きな岩石で埋め尽くされた斜面に水平に苔のみどりの美しい石畳が続く、途中崩落箇所があり注意して通過した。桔梗平の辺は春はエンレイ草、バイケイソウ等が、初秋には大文字草がみられる水場もあるが相当下ることになる、植林の道を下って林道に合流ししばらく下ると三多気キャンプ場に到着する、あとは真福院からさくら並木を経て駐車場に戻る。(14:15)帰路は名張市の丸亀うどんで腹ごしらえをして上野東ICの伊賀の湯でねむけ冷まして刈谷に帰る。(18:45)</p>									
リーダー所見					(フリースペース)				
先回の兜岳～鎧岳は小雨で展望がよくなかったが、今回は天気にもまれ快適な山行ができました、三重、奈良の山の魅力を感じることが出来、ふるさと富士山行の有意義な1ページを飾ることができました									
確認(リーダー) 塚本									
作成(報告者) 青山									
					ニガ岳山頂にて				